

2011年12月14日

各位

株式会社クレハ  
株式会社クラレ  
伊藤忠商事株式会社

リチウムイオン二次電池向けハードカーボンに関する共同開発・事業化について

株式会社クレハ（本社：東京都中央区、以下「クレハ」）、株式会社クラレ（本社：東京都千代田区、以下「クラレ」）は、リチウムイオン二次電池（LiB）の負極材「ハードカーボン」の新規品の共同開発を進めて来ましたが、このほど植物由来原料の新規開発品「バイオカーボトロン」の共同事業化に向けて合意しました。来春を目処にクレハと伊藤忠商事（本社：東京都港区、以下「伊藤忠商事」）の合弁による電池材料事業会社である株式会社クレハ・バッテリー・マテリアルズ・ジャパン（本社：東京都中央区、以下「KBMJ」）にクラレが資本参加・人材投入するとともに、KBMJ とクラレグループのクラレケミカル株式会社（本社：大阪府大阪市）の生産合弁会社を新設し、2013年には年産1千トンレベルで量産・供給体制を構築することで基本合意しました。

クレハは、ピッチ系ハードカーボン『カーボトロン®P』を事業化しており、その特性である充放電特性と耐久性が評価され、産業用や車載用大型 LiB 用途などに活用されています。近年、ハイブリッド車・電気自動車向けの LiB 開発が活発化する中で、ハードカーボン固有の特性がますます注目されるとともに、自動車・電池メーカーからの品質要求も多様化し、これに対応する新規品の開発が課題となっています。

クラレは、活性炭事業等を通じて得られた炭素材に関する知見をもとに、新規ハードカーボンの開発に取り組み、今後その事業化に目処を得たことを足掛かりに、成長分野である LiB 部材市場での事業拡大を図りたいと考えています。

伊藤忠商事は、二次電池分野取り組み強化の一環として、LiB 関連素材事業における投資を積極的に行っています。負極材分野においても、幅広い経営資源、世界規模のネットワーク並びに統合力を最大限に活かし、カーボトロン®P のグローバル展開を加速させております。

今後、KBMJ はクラレの経営参加により、新商品開発能力や安定供給体制を強化し、更なるコストパフォーマンスの追求を目指します。

ハイブリッド車用・電気自動車用のみならず、定置用、スマートコミュニティ、家庭用等 LiB 市場は今後急速な普及が見込まれており、負極材の需要量は現在の年間数千トンから、10年後には年間10万トン以上に達すると予想されます。クレハ、クラレ及び伊藤忠商事は、特徴あるハードカーボンのラインアップ充実と安定した供給・販売体制を通じて、負極材分野に独自の地歩を築いていく所存です。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社クレハ	株式会社クラレ	伊藤忠商事株式会社
広報・IR部 担当：数井	IR・広報部 担当：小山	広報部 担当：寺下
Tel：03-3249-4651	Tel：03-6701-1080	Tel：03-3497-6446